

令和 7 年度 西日本地区種豚登録講習会を開催しました

令和 8 年 2 月 17 日(火)・18 日(水)の 2 日間、愛知県にて令和 7 年度 西日本地区種豚登録講習会を開催しました。17 日は名古屋市にて卓上講習、18 日は豊橋市にて生体審査実習を行いました。

1 日目は名古屋城と愛知県庁が至近距離にある、大津橋ビルの会議室を会場として、群馬県から沖縄県までの出席者が集まり、国産純粋種豚の登録審査のポイント、血統管理の重要性とその実務、豚の改良とは何かについて講習を行いました。非常に熱心な受講生ばかりで、ついつい色々な育種の問題に派生してしまい、時間が足りないくらいの卓上講習でした。講師を担当させていただいた私も非常に勉強になりました。

2 日目は、豊橋市にある愛知県経済農業協同組合連合会 あいち家畜市場をお借りして生体審査実習を行いました。愛知県畜産総合センターより、ランドレース(雌)、大ヨークシャー(雌)、デュロック(雄)の 3 頭を出品いただき、各品種別審査基準とにらめっこしながら、それぞれの項目の説明を確認しつつ審査講評に取り組みました。



防疫の問題から、昨今は特に普段なかなか自分のいる農場以外の種豚を見る機会が厳しくなっています。今回は大変貴重な機会を得ることができました。卓上講習で選抜のポイントや注意点を覚えても、いざ生体を前にすると審査は非常に難しいです。今回は、審査項目の説明文言を追いながら、「なるほど。これはこういうことなんだ。」と、実際に説明文言と生体を見比べて観察することができたことで、しっかりと体得できたと思います。例えば、肢蹄について、つなぎに弾力があり、と

はどういうことなのか、弾力が無いつなぎだとどうなるのか、実物を触って、見て、感じるという体験ができました。

この講習で得たことは是非、現場に持ち帰って生かしていただきたいと思います。

なお、本講習会開催にあたり、愛知県養豚農業協同組合、愛知県、愛知県農業総合試験場、愛知県総合畜産センター、愛知県東部家畜保健所、愛知県経済農協協同組合連合会の各皆様には開催のご相談から始まって、事前の準備、連絡と確認、当日の豚の搬入搬出、会場設営と防疫対策、会場清掃と消毒など本当にお世話になりました。感謝申し上げます。国産純粋種豚と一口に言っても、これだけの皆様に支えられて維持管理改良体制があることを改めて実感しました。まさに官民一体、オールジャパンでの取り組みです。

令和8年度につきましても、東日本地区と西日本地区での種豚登録講習会開催を予定しています。詳細については確定次第改めてお知らせいたします。

